

山南学区

地域まちづくり計画

～歴史と芸術文化が融合するまち～



はねおどりの発表

2014年（平成26年）8月

山南学区まちづくり推進委員会

目 次

1. 学区の現況	……………P.1～2
2. まちづくりの基本理念	……………P.3
3. 学区の現状と課題	……………P.4～5
4. 2015年度（平成27年度）のまちづくり計画	……………P.6
5. 活動方針	……………P.6
6. 推進方針と事業内容	……………P.7～8
7. 推進体制	……………P.9

資料

まちづくりアンケート調査結果について	……………P.10～15
--------------------	--------------

1.学区の現況

山南学区は沼隈半島の中心に位置し、兼業農家が殆どどの中山間地域で企業はなく市街地や常石方面へ勤務しています。2008年（平成20年）から人口は僅かずつ減っており、学区内人口は2912人（2014年2月5日現在）で減少傾向にあり、世帯数は1124世帯で自治会加入率は71.8パーセントです。

また、アンケート結果では、商業施設が少なく買い物は他学区へ出かけていかなければならないなど買い物難民となっています。そして高齢者の割合も年ごとに高くなっており高齢者が高齢者を介護するなど深刻な状態も伺えます。

しかし、周りは山で囲まれ自然豊かで、ほぼ中央を幹線が走っており市街地へのアクセスは便利のよい地域です。

このような現況の中で、山南学区でまず自慢できるものは特産のブドウがあります。

昭和のはじめ（1925年ごろ）当時の瀬戸村でベリーAを導入し一部の人々が作っており、また当時換金作物として藺草・畳表・葉タバコなどを作っていましたが収入は伸び悩んでいました。大規模な栽培は、1955年（昭和30年）山南学区で始まり八日谷^{ありくに}有国共有林を開墾し約30ヘクタールを造成しました。ここ八日谷は沼隈の中でも1戸あたりの耕地面積が広いとされる地域でしたが、人々は「所得倍増」を目指してブドウ団地を造成しました。

八日谷ぶどう園



1965年（昭和40年）ごろからは栽培者の高齢化と減少が続き、1987年（昭和62年）からは効率的な経営をめざした再造成が進められ2000年（平成12年）に48ヘクタールのブドウ団地が完成しました。

沼隈ぶどうは（沼）ブドウとして高い評価を受け、ニューベリーAを筆頭に瀬戸ジャイアンツ・ピオーネ・ゴルビーなど十種類以上が、広島を始め関西市場へ出荷されています。

また、誇れるものといえば「はねおどり」があります。この踊りは沼隈半島一帯に伝わる民族芸能で雨乞いや虫送り、神社の祭りなどで楽器を打ち鳴らしながら大地を踏みしめたり、飛び跳ねるかっ達な踊りです。

戦後は町内全域で踊られていた「はねおどり」も山南村の若者だけが続け1952年（昭和27年）3月「沼隈おどり」として広島県無形文化財の指定を受けました。

それが山南学区では昔より伝統行事としていまに受け継がれています。

その起源は1619年（元和5年）水野日向守が福山城主になったころ、「はねおどり」をして城主を迎えたとあります。



はねおどり

そして脈々と続いてきた伝統芸能は、高齢化により後継者不足になっています。

こうした現状の中「はねおどり」保存会が山南小学校の児童に課外授業の一環として指導しています。

年に数回夏祭り・ひびき祭り等へ参加し、特に高齢者・町外へ出て行かれた方になつかしがられています。また、2013年度（平成25年度）に福山明るいまちづくり推進大会でもアトラクションに出演し参加者から好評をいただきました。

次に平家谷（横倉）の由来についてですが、その昔源平合戦で屋島の戦いに敗れた平家は、瀬戸内海を渡り能登原に逃れ、さらに向かいの島にいた白鷺の群れを源氏の白旗と勘違いした平家は山南川を川上へと逃れ、八日間宿を取り（八日谷）また「我が武運はいかに」と、岩に切りつけ刀傷（刀岩）を残したとあります。横倉には他に（蛇淵）（鎧の峠）（乗り越え）など平家にまつわる伝説がたくさんあります。

また、この谷では白を忌み、白鳥も谷には降りなかったと伝え聞いています。今では、氏神の平家の宮（通盛神社）の御幣や垂に赤い紙が使われ、その名残を忍ばせています。

このほかにも、この谷には昔を忍ばせる地名が各所にあり、（殿迫）、（殿方の前）、（馬通し）、（弓場）、（的場）、（広場）、（帯刀田）、（見張り所）等々あります。

この谷には平家の宮40余社ありと記されており、平家の一族を祀ったものではないかと古書には書いてあります。現在、谷内には46戸ありますが姓の数が22もあり、明治の終わりごろには35ぐらいの姓があったようです。

2011年（平成23年）12月に案内看板・標柱・方向案内板を設置しました。

また、「花しょうぶ園」「つばき園」とともに、歴史ロマンのあふれる地『平家ロマンの里』づくりをめざして歴史ガイド等を配していかなければならないと思っています。

以上、学区での主たる特徴的のものを掲げてまいりましたが、「ずっと住み続けたい」と誰もが思えるまちづくりを進めていきます。

平家谷つばき園（横倉地区）



横倉地区案内看板



2.まちづくりの基本理念

2005年（平成17年）の合併以前よりふれあい事業を実施して2007年度（平成19年度）より、「地域まちづくり推進事業」に変わり、「キーワードモデル事業」とともに一定の成果をあげてきました。地域住民が色々な事業の中でどう参画していくかが問われているものと思われます。そこで、2012年（平成24年）3月に策定された「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を受け、山南学区においても地域まちづくり計画を作成し、キャッチフレーズを「人権を尊重し、豊かでふれあいと活気あるまち山南」と定め、住民の安心・安全なまちづくりを基本にすえ、事業を推進していきます。

住民学習事前学習会



3.学区の現状と課題

現在、学区の人口でいうと少子高齢化・核家族化など多様化しており、高齢者の二人世帯・一人世帯が増えてきており、世帯数の割に人口は少ない状況となっています。そういう世帯は「高齢者なので」といわれ自治会を脱会するとのことで自治会長の悩みとなっています。いま、福山市では自治会への加入を促しており、今後このような事態が多く出てくることが予想されます。

また学区においても、「隣は何するぞ」的な無関心な人がおり、人間関係が希薄になりつつあります。「みんなで安全な住みよい地域をつくろう」と自助・共助・公助の精神を問いなおしてみる必要があります。

また、住宅団地の整備のため古い住宅を壊しており学区外に移転する人もおりその影響も少なくありません。ある住宅団地では、自治会運営ができなくなり、当然のごとく自治会長もいない状態です。

当学区においても、ご他聞にもれず少子高齢化が進み、2013年度（平成25年度）山南小学校児童数は140人まで減少してしまっています。〔ちなみに2010年度（平成22年度）146人、2011年度（平成23年度）136人、2012年度（平成24年度）には155人いました。〕

また、子どもを取り巻く安心・安全な環境も全国的にいじめ・中傷が陰湿になってきています。いまやネットなどの普及により本人の知らない内に、他人が知りそれも数かぎりなく知れ渡る。こうした被害に会わないためにも日頃から細心の注意が必要です。

アンケートにありますように「歩道がない」「公園がない」といったように通学途中にいつ児童が交通事故或いは事件に巻き込まれるかわからないので歩道をつけるか、歩道部分に色付けしていただきたいのです。また、防犯灯も少なく冬の日が短い時は暗くなって下校するので犯罪に巻き込まれやすくなります。山南学区では定期的（小学校の下校時、火曜日と木曜日、また金曜日の夜）に青色パトロール車を運行しており、また事件・事故がおきたときは臨時にパトロールしています。

パトロール車・パトロール風景



住民学習においては2012年（平成24年）3月「人権啓発基本方針」が改訂され、活動テーマである『人権文化が根付いた地域社会の実現』を目指した取組みを引続き行っております。

しかしながら、住民学習を秋に約2ヶ月かけて行いましたが、出席者は僅かずつ増えているものの、ここ数年30パーセントを越えることはありませんでした。参加者の固定化、役員のみ参加等が考えられます。住民学習では、身近な問題の中での矛盾に気付き解決できる力量をつけることと、身のまわりにあるさまざまな差別や矛盾・不合理などに目をむけて、自分の課題として意識を高めること等、今一度原点に返ることが必要です。

「はねおどり」の経費等については、器具損料、旅費、クリーニング料等がありますが、これらははねおどり保存会や保護者による負担の一部で賄われています。この習得により伝統文化を受け継いでいくことは重要です。昨今、小学生中心におこなってきましたが、中学生・一般の人にも裾野を広げていきたいと思っています。

以上、生活の変化・多様化に伴い時代にあった事業を推進したいと考えます。

4.2015年度（平成27年度）のまちづくり計画

- ・山南学区内の見通しの悪いところ，ここは防犯灯があった方がいい場所を自治会ごとに検証し危険箇所に防犯灯〔一基 約2万円（既存の電柱へ付ける場合）〕の設置を行います。
- ・「はねおどり」の器具管理及び支援を行います。
- ・災害時にそなえて避難訓練を実施します。

5.活動方針

○人権を尊重し，豊かでふれあいと活気のあるまち山南

- ・互いの気持ちを理解しあい包容力のあるまちをめざします。
- ・人々がふれあい，生涯学習で人権感覚をたかめます。（住民学習・講演会等の参加者を増やすとくみをします）
- ・すべての学区民が安心・安全にすごせるまちにします。

6. 推進方針と事業内容

推進方針	分野	事業内容	達成期間		
			短期	中期	長期
1人1人が主役のまちづくり	人権	①住民学習	○	○	○
		②人権講演会	○	○	○
		③学区人権学習推進協議会活動支援	○		
		④人・まち・ふくしフェスタの支援	○	○	○
ふれあいと活気あるまちづくり	交流	①ふれあい運動会（合同）		○	○
		②ふれあい夏まつり	○	○	○
		③敬老祝賀会	○	○	○
		④ふれあい文化祭	○	○	○
		⑤駅伝大会	○	○	○
		⑥各種ふれあい体育行事	○	○	○
		⑦子育て（音楽会等）交流		○	○
		⑧多文化共生			○
地域まちづくり福祉活動	福祉	①三世代交流事業	○	○	○
		②おでかけ支援事業	○	○	○
		③サロン事業	○	○	○
誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり	生活	1.防犯パトロール活動			
		■下校時・夜間パトロール	○	○	○
		■年末・年始警戒パトロール		○	○
		■緊急性を要するもの	○		
		■防犯灯（LED）設置	○	○	
		2.交通安全活動			
		■交通安全教室（子ども）	○	○	○
		■交通安全教室（高齢者）		○	○
		3.自主防災活動			
		■地震・家屋倒壊等避難訓練	○	○	○
		■災害時非常用品の拡充	○	○	○
		■ハザードマップの見直し整備		○	
		■情報伝達の整備			○
4.こども110番の家活動	○	○	○		
資源を創りだすまちづくり	観光	①観光（横倉平家谷・ぶどう）		○	○
伝統文化を保存するまちづくり	文化継承	①はねおどり	○	○	○
		②円座		○	○
健康を考えたまちづくり	健康	①AEDの設置			○
		②健康教室		○	○
		③健康関係講演会		○	○

推進方針	分野	事業内容	達成期間		
			短期	中期	長期
まちづくり推進体制	活力	①役員負担軽減のアイデア			○
		②次世代地域担い手育成		○	
		③人材発掘		○	
		④加盟団体との連携		○	
		⑤行政と連携して鳥獣害対策	○	○	○

7. 推進体制

まちづくり推進委員会

専門分野	内容	主な構成団体
総務部会	広報誌発行 市民憲章啓発 人権啓発 夏祭り 選挙啓発	単位自治会 在住行政職員 の会 人権学習推進協議会 明るい選挙推進協議会
環境美化部会	環境ボランティア活動 花いっぱい運動 清掃美化活動	単位自治会 在住行政職員 の会 公衆衛生推進委員会
健康福祉部会	敬老会 福祉ボランティア活動 福祉を高める会 健康づくり	単位自治会 在住行政職員 の会 福祉を高める会 民生委員 女性会 学区ボランティア の会
生活安全部会	自主防災 防火 防犯 交通安全 生活安全活動	単位自治会 在住行政職員 の会 公民館 小学校PTA 中学校PTA 防火協会 防犯組合 交通安全協会 子ども会育成協議会 青少年育成員協議会
教育文化部会	運動会 文化祭 はねおどり盆踊り継承 教育・文化・芸術振興	単位自治会 在住行政職員 の会 小学校・小学校PTA 中学校 白百合保育園 若葉園保育所 女性会 老人クラブ連合会 文化連盟 はねおどり保存会
体育部会	駅伝大会 グラウンドゴルフ大会 少年ソフトボール大会 ソフトバレー大会	単位自治会 公民館 小学校PTA 中学校PTA 体育会
運営委員会	まちづくり	自治会連合会 在住行政職員 の会 福祉を高める会 民生委員・公民館 防火協会・防犯組合 交通安全協会 青少年育成員協議会 6部会長

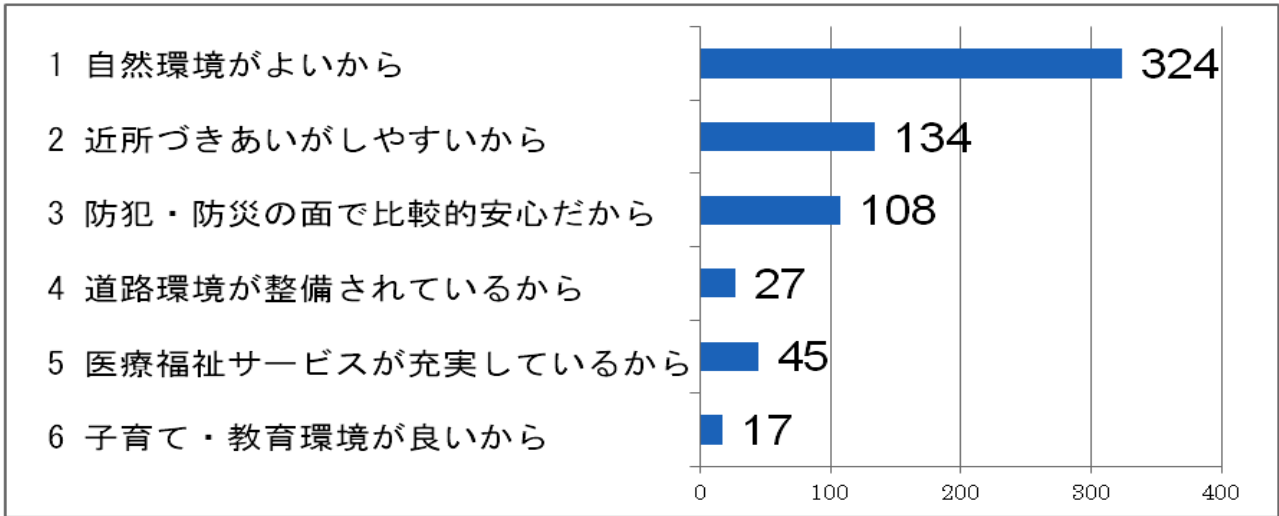
資料

まちづくりアンケート調査結果について

まちづくりアンケート調査表

設問（1）

山南で住みやすいと思うことは、何でしょうか。（二つ以内で○をつけてください。）

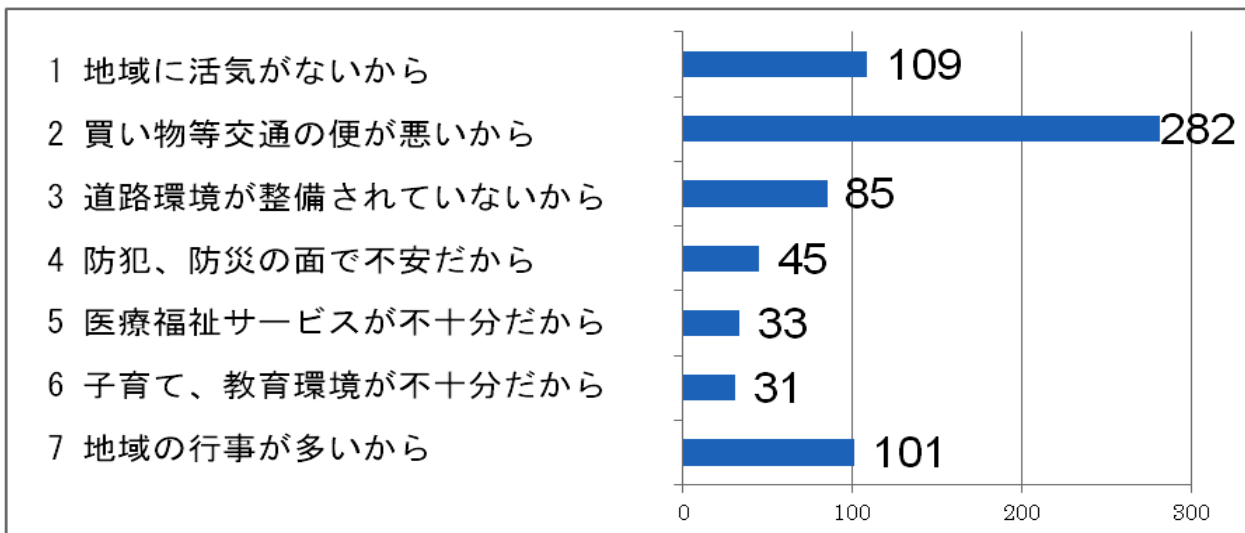


その他

- ・ 地震，災害が少ない。
- ・ 高速道路，空港，駅に近い。
- ・ 助け合う気持ちが強い。
- ・ 山南は自然が多いが，もっと美しく整えられたらもっと良い。
- ・ ぶどうの特産品がある！ということは山南学区の誇りでもあり住みやすいことの1つだとおもう。

設問（2）

山南で住みにくいと思うことは、何でしょうか。（二つ以内で○をつけてください。）

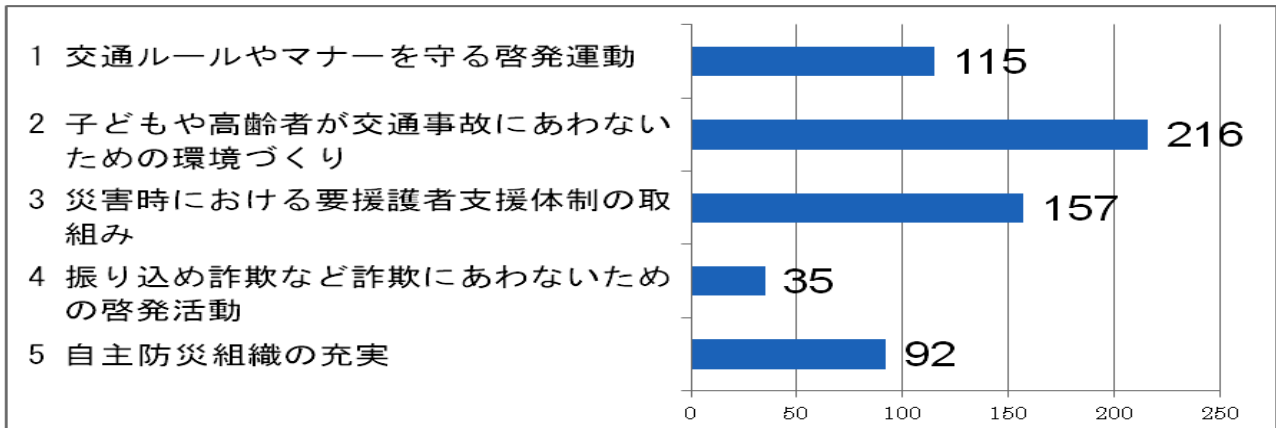


その他

- ・ イノシシの害が多い。 ・ きまりを守らない。
- ・ 通学路にもっと防犯灯があると良い。
- ・ 福山の高校は遠く，通学のための交通費の負担が大きい。
- ・ 他人を受け入れない排他的考えの人が多。よそ者意識がある。

設問 (3)

安心・安全なまちづくりをするために、重点的に取り組むことは何でしょうか。
(二つ以内で○をつけてください。)

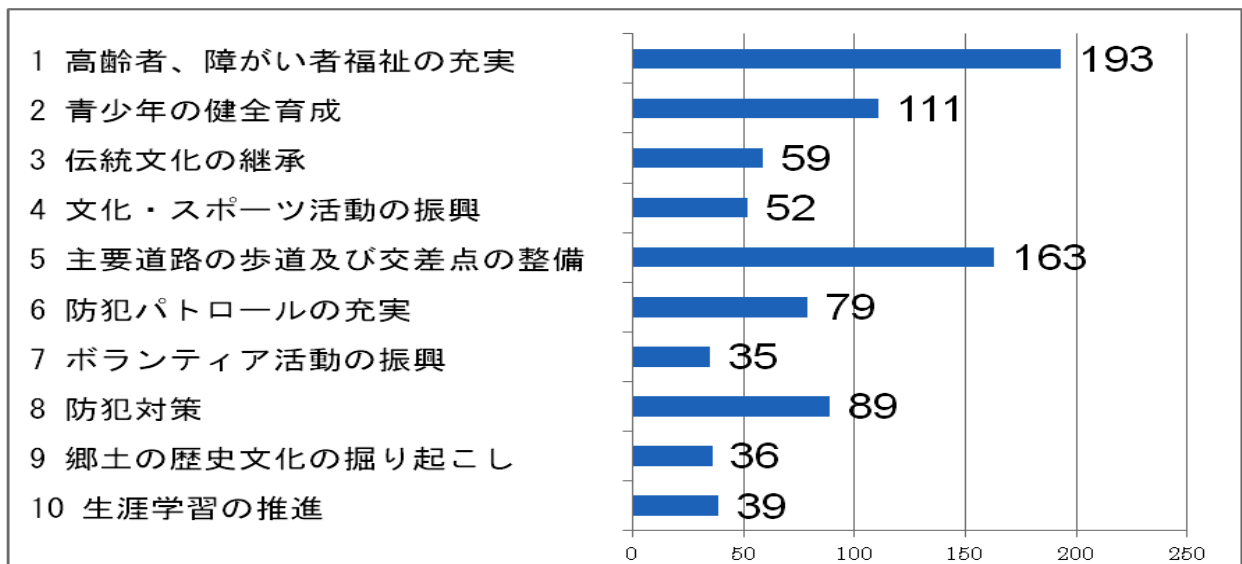


その他

- ・ 歩道の整備，カーブミラー等の設置，下水道の整備。 ・ 教育，学習の充実。
- ・ 各バス停に屋根，椅子を設置して欲しい。
- ・ 若者が積極的に参加できる環境を作ることが必要。
- ・ 隣近所とのコミュニケーションを活発にする。
- ・ 自助・共助の考え方，理解するように継続的な啓発活動。
- ・ 防犯対策・犯罪が発生しないような予防対策。

設問 (4)

今後，山南学区のまちづくりにおいて，何を優先的に進めたらいいと思いますか。
(三つ以内で○をつけてください。)

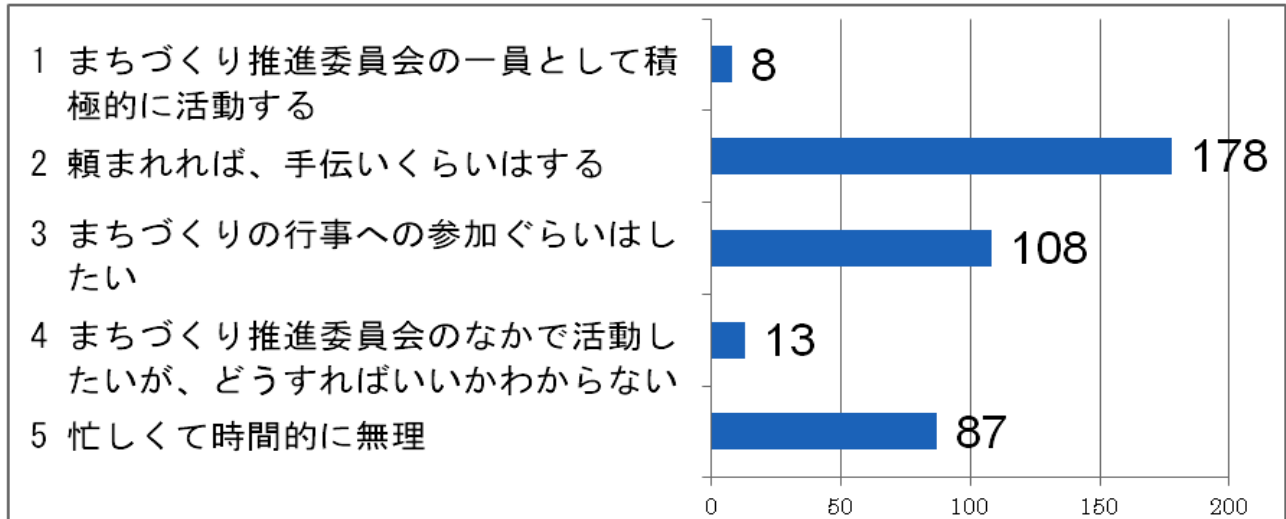


その他

- ・ 子どもが住みやすい町・若い人たちが住みたいと思うまちづくり。
- ・ 高齢者・若者・子どもが集まれる公園がほしい。
- ・ 地域活性・三世代交流で三南にパワーを。
- ・ 高齢者の運動の推進，健康ウォーキングコースの設定など。
- ・ 車なしで日常生活できる社会。
- ・ スーパーなど買い物のできる場所を作る。

設問（5）

まちづくりの活動で、あなたの出来ることは何ですか。



その他

- ・ 自分のペースでお手伝いができるのであれば
- ・ 住民皆が仲良く楽しく協力できるような付き合い方が大切です。皆が仲良くなれば少々の困難も皆でやっていけると思う。
- ・ 高齢のため積極的な活動は出来ない。

設問（6）

まちづくりについてご意見ご希望があれば、自由に記入してください。

<子ども>

- ・ 子どもが安全、安心して遊べる場所があればよい。
- ・ 子どもたちが遊ぶ公園がない。
- ・ 通学路にはカーブミラーの設置をお願いしたい。
- ・ 通学路の草刈りをして欲しい。
- ・ 歩道の確保をして欲しい。

<若者>

- ・ 若者が住みたいと思うまちづくりを望みます。
- ・ 若い人たちが住みよい環境を作り、山南が過疎化しないよう、働きやすい職場（雇用）対策等。
- ・ 若い人たちが楽しいと思うような場所や行事（イベント）を考えて欲しい。

<高齢者>

- ・ 高齢者が楽しく集まって語れる場所があればよい。
- ・ 買い物が不便です。山南学区にもスーパーなどが出来れば幸いです。
- ・ 公共機関で使用しない場所を減らし、不足している。商業部門を充実させて欲しい。
- ・ 高齢者が安心して暮らせる生活が出来るとなれば良い。
- ・ 年に二回くらい若い人も若きも一同に会して楽しく過ごすことが出来る講演会の開催など。

<自治会>

- ・ 山南学区の活動が分かりにくい。
- ・ 自治会規則など基本的なことが理解されていない。勉強会が必要だと思う。
- ・ 各地区のクラブを開放して自由に使用させるべきだ。新しいコミュニティの展開。
- ・ 自治会長の出来る範囲での行事をして、無理やりしないでください。行事が多すぎる。
- ・ 沼隈町時代の地域づくり活動をもう一度考えて事業を推進する。各地区の活動を学区協が積極的に支援する仕組みを作ることも地域・学区の活性化に繋がるのではないか。
- ・ 学区の行事に多くの人に参加するようにアピールすること。
- ・ 各自治会長の仕事の自覚と認識の向上を促すこと。
- ・ 30代、40代、50代の若い世代が山南を引っ張っていける。勢いあるイベントでまちおこしが出来る力あるリーダーが出てくれば良いと思う。ボランティア、自治会活動などで培ったノウハウを引き継いで欲しい。
- ・ 積極的広報。
- ・ 長く続けられる事をして欲しい。

<その他>

- ・ あいさつ運動というかけ声と笑顔の交換のある町。
- ・ 小学生と高校生の「挨拶」、出会った時の「言葉」、「返事」などはっきりしていて大変良いことだと喜んでいる。
- ・ 近所の方はあいさつや話かけをして下さるので、住みやすい環境だと思っている。感謝している。
- ・ 町内広報スピーカーで難聴区域があるため調整をお願いしたい。
- ・ 放送設備の更新をすること。防災の基本連絡が出来ない。
- ・ 地産地消で名産物は？ぬまくまぶどう、ぬまくまワイン、昔は畳表があった。
- ・ 鞆の架橋は対岸の火事ではない。鞆に橋が架かれば、洗谷のラッシュが緩和されるのでは？水呑地区と沼隈地区を流動的にすることで地域発展を促して欲しい。
- ・ 害鳥獣駆除，山村整備，過疎化対策。
- ・ 救急車が家まで来る道路が欲しい。
- ・ 安全に通行できる生活道路の整備。

調査団体	山南学区まちづくり推進委員会
調査日	2013年(平成25年)3月
調査対象	山南学区全世帯(882世帯)
回答世帯数	442世帯
回収率	50.11パーセント

